

最強選手が続々輩出

# レスリング王国和歌山!

2012年、ロンドンオリンピック男子フリースタイル55kg級で銅メダルを獲得した湯元進一選手。レスリングの種目には湯元兄弟が戦うフリースタイル以外に、相手の下半身を攻撃できないグレコローマンスタイルの2種がある。

1対1で力と技だけを競い合うレスリング。その歴史は古く、起源は紀元前2000年以上ともいわれる。双子の五輪メダリストを輩出した和歌山は最強レスリング王国!



常にライバルを意識し  
目標を明確にする

湯元健一・進一兄弟といえば、和歌山が誇る双子の五輪メダリスト。兄の健一選手は、2013年に現役を引退、現在は指導者として活躍中。弟の進一選手は、今年開催される紀の国わかやま国体での優勝、さらには来年開催のリオデジャネイロ五輪での金メダル獲得を狙っている。



北京オリンピックで銅メダリストを獲得した兄・湯元健一選手は、フリースタイル60kg級。

学校3年生から兄弟は共にレスリングをはじめた。身近過ぎるライバルが故に闘争心もかき立てられる。進一選手は当時を振り返りこう語る。「目の前には常にライバルである健一がいた。お互いに負けたくない!という気持ちで強く、高校までは私生活でも一緒だったので、正直言つて仲が良かったとは言えません。しかし切磋琢磨するという意味ではいい影響を与えてくれたと思ってい

ます。でも大学進学を機に別々になつてからは、逆に自然と仲が良くなつていましたね」。進一選手は、後輩選手にもエールを送る。現在、和歌山県立北高校で活躍する吉田隆起選手は、同じレスリング教室出身の有望選手だ。「吉田君は、前からずっと注目していました。2014年の全国高校選抜レスリング大会でも日本二に輝くなど期待どおりです。常にライバルを頭に思い浮かべて、練習に取り組みこれからも頑張つてほしいと思います」。

アスリートとしての  
心構えを学んだ

「勝ちたいと思えば、練習を沢山しなければならぬし、一瞬の時間も無駄にできない。そんなアスリートとしての心構えを持てるようになったのは、身体プログラムや知的トレーニングなどを学ぶゴールデンキッズに選ばれたおかげだと思っています。その上メダリストの先輩が身近にいたおかげで、

勝つという目標を明確に持つことができました」と、笑顔で語る吉田選手は、高校生日本二に輝いた今も早朝からの練習に精をだす。



ロンドンオリンピックでの3位決定戦でブルガリアのラドスラフ・ペリコフと組み合う進一選手(左)。



笑顔が好印象な吉田隆起選手はゴールデンキッズ1期生。

【和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクト】  
県内の小学生を対象に、体力や運動能力に優れた子ども達を発掘・認定し、育成するプログラム。

2015 もうすぐ国体!

[レスリング]

競技日程▶9月27日~30日



2015 紀の国 わがやま国体

第47回国民体育大会 運動と歓喜、そして絆

2015 紀の国 わがやま大会

第18回全国児童体育大会 スポーツ大会 運動と歓喜、そして絆

実施会場はココ!

那智勝浦町